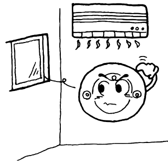
次のようなことは警報器の近くでしないでください(つづき)

⚠ 注　意

◎できるだけ空気の流れを激しくしないでください。



こんなときは!?

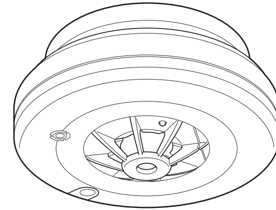
試験などで故障と思われたとき、下表にしたがって確認してください。
処理後、故障が直らないときはお求めの販売店までご連絡ください。

故障と思われる現象	考えられる現象	処　理
テストボタンを押しても警報音が鳴らない（または、吊りひもを引いても同様）	・ブレーカがオフになっている	・ブレーカをオンにしてください
	・一時停止状態になっている	・一度警報音停止になりますと約5分間はテストをしても音響は鳴りません
	・ヘッドとベースが正しく取り付けていない	・「警報器との取り付け法」に従って正しく取り付けてください
熱がないのに警報ブザーが鳴る	・「次のようなことは警報器の近くでしないでください」のことをしている	・換気等を行い室温を下げてください
	・警報器の熱感知部にほこりやごみが溜まっている	・「お手入れと試験の方法」にしたがって掃除をしてください
	・他の部屋の警報器が、熱を検出している	・火災でないことを確認の上、熱を検出している警報器(通電灯赤点滅)の警報を止めてください

05.02A

取　扱　説　明　書

住宅用火災警報器ヘッド連動型(熱式)



CRD-1A

(AC100V式)
日本消防検定協会　鑑定合格品



お買い上げありがとうございます。
ご使用にあたりましては、必ずこの「取扱説明書」をお読みいただき、正しくご愛用の程お願いいたします。なお本取扱説明書はいつでもお読みいただけるところに大切に保管してください。
この取扱説明書は保証書を兼ねています。

警告・注意表示等の基準

この取扱説明書の中で使用している警告・注意表示等の基準は、下表の通りです。

⚠ 危　険	取り扱いを誤った場合に、取扱関係者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定され、かつ危険発生時の警告の緊急性が高い限定的な場合（高度な危険を含む）、または警報機能に致命的な悪影響を及ぼすことが想定される場合。
⚠ 警　告	取り扱いを誤った場合に、取扱関係者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定される場合、または警報機能の一部に重大な悪影響を及ぼす可能性がある場合。
⚠ 注　意	取り扱いを誤った場合に、取扱関係者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定される場合、または警報機能に悪影響を及ぼす可能性がある場合。

一般的な禁止	分解禁止	必ず行う

アフターサービスについて

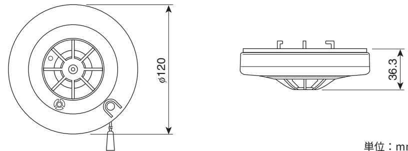
1．この商品には保証書がついています。お買い上げの販売店で所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。
2．保証期間は、お買い上げ日より1年間です。万一故障した場合は、内部機構を触らずにお買い上げの販売店に修理をお申しつけください。保証規定により修理をいたします。
3．アフターサービスについてご不明の場合、その他当社製品についてのお問い合わせは、お買い上げの販売店もしくは当社にご連絡ください。

保証規定

1．保証期間は、お買い上げ日から1年間といたします。
2．通常のお取り扱いにおいて、保証期間内に万一故障した場合の修理は無償でいたします。
　ただし、出張サービスの場合は別に出張料金をいただきます。
3．保証期間内においても、次のような場合は修理料金をいただきます。
　イ）お取扱上の誤りによる故障または損傷
　ロ）不適当な改造や修理による故障または損傷
　ハ）お引渡後の輸送、移動、衝撃による故障または損傷
　ニ）油汚れ等による機器の機能劣化
　ホ）保証書を紛失またはご提示のない場合
　ヘ）保証書の所定事項の記載もれ、または字句を書き換えられた場合
4．保証期間が経過したとき、または保証の適用除外故障でも修理いたします。この場合は実費を負担していただきます。

仕　　様

製品記号	CRD-1A（屋内型）
鑑定型式番号	鑑ケ第13～19号
安心マーク認定番号	住推　5ー041
主電源	AC100V　50Hz/60Hz
ベース	SH5101　住宅用火災警報器ベース（連動型用）
検知方式	定温式（サーミスタ）
警報音圧	1mの地点で70dB以上
連動接続個数	1システム当たり最大10個（音響ユニット、移信ユニット含む）
復旧方式	異常な熱がなくなると自動的に警報が止まります
使用環境	0℃～＋40℃
質量	約135g
音響ユニット	NR-BZ4（増設ブザー）等連動仕様に適合する機器
同梱物一覧	本体、取扱説明書（保証書含む）
補修用性能部品	製造打ち切り後3年間



単位：mm

郵送についてのお願い

・警報器を当社へ郵送される場合は、次のことに注意してください。
1．保証期間中であるときは、本書を商品に同梱してください。
2．商品は緩衝材に包んでダンボール箱に入れるか、または郵送用の袋（メールバックは文具店などでお求めいただけます）などに入れて、輸送中の損傷を防ぐようご配慮ください。
3．紛失などを防ぐため、簡易書留をご利用ください。

保　証　書

製品記号	CRD-1A
保証期間	1年間
お買上げ日	年　月　日
お客様	ご住所 お名前　様 電話
販売店	住所・店名 電話

販売店さまへ…必要事項は必ず記入してお渡しください。

ニッタン株式会社

本社　東京都渋谷区幡ヶ谷1-11-6　〒151-8535　Tel 03 (3468) 1111(代)

支社　北海道　Tel 011(704) 1119 (代)　関　西　Tel 06(6354) 2848 (代)
東　北　Tel 022(266) 6111 (代)　中　国　Tel 082(221) 7562 (代)
首都圏　Tel 03(3469) 3151 (代)　四　国　Tel 087(867) 3881 (代)
中　部　Tel 052(331) 9421 (代)　九　州　Tel 092(712) 5501 (代)

警報器についての主な注意事項

⚠ 危　険

ベース内部の端子部に金属棒などを差し込まないで下さい。感電や発火の恐れがあります。

⚠ 警　告

◎警報時の警報音は下記のような場合、気が付かないこともありますのでご注意ください。
・就寝中、薬を服用していた場合
・酒を飲んで就寝した場合
・ドアを閉めている場合
・交通、ステレオ、ラジオ、テレビ、エアコンなどの騒音が大きい場合
◎警報器は熱以外感知しませんので、下記のような火災は早期に発見できないことがあります。
・爆発的な火事
・ガス漏れ、薬品火災、電気火災など
◎本警報器をお取付けいただいた場所近くでの熱は警報を発してお知らせいたしますが、他の部屋などで発生した熱では検知しない場合があります。
◎停電時は動作しません。

⚠ 注　意

警報器は精密に調整されていますので、内部を分解しないでください。

はじめに

⚠ **本警報器は、共通ベースに取り付けることにより機能するものですが、共通ベースは、「住宅用火災警報器ベース(連動型用)」(共通ベースには「火災警報器連動型用」と記載:型名:SH5101)です。「住宅用火災警報器ベース(単独型用)」には接続できません。**

- **本警報器は鑑定品であり、自動火災報知設備には使用できません。**
- **警報する機能をもっていますが火災防止器ではありません。火災などによる損害については責任を負いかねますのでご了承ください。**

特　長

お年寄りや身体の不自由な方のお部屋にも最適

本警報器は、火災で発生する熱を音で知らせる住宅用火災警報器です。火災発生の時には70デシベル以上の警報音で火災の危険を知らせます。

テストボタンまたは吊りひもで動作の確認ができます

本警報器はテストボタンを押す又は吊りひもを引くことにより、警報器の正常な動作を確認できます。

警報器の取り付け位置について

警報器が有効に動作できるように、取り付け位置は以下の点に注意してください。

◎取り付け時に警報器のテストボタン（警報音停止ボタン兼用）が操作しやすい位置にあること。
◎天井面に取り付ける時は、できるだけ天井面の中央とし、壁、ハリ（ハリの突出60cm以上）等から60cm以上離してください。
◎切妻になっている天井面へ取り付ける時は、一番高い所から1m左右方向に離してください。
◎壁面に取り付ける時は、壁面中央付近で、天井面下15cm以上50cm以下の範囲に取り付けてください。

⚠ 警　告

警報を発した時、警報器を外さないでください。
警報音停止ボタンを押すと、警報音は止まります。
室温が高い場合は警報音は約5分後に再び警報を発します。換気を行うことにより警報音は自動的に止まります。

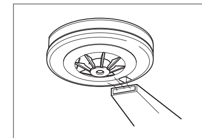
⚠ 注　意

警報器の位置は必ず確認してください。
誤った位置に取り付けますと、誤動作の原因となり、正常に火災を警報できません。

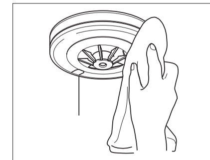
お手入れと試験の方法

警報器がより良い状態で働くように、お手入れをお願いします。
ほこりやごみなどが表面につきますと、検知しにくくなります。

● 毎年1度は掃除機で熱感知部（下図）のほこりやごみを吸い取ってください。



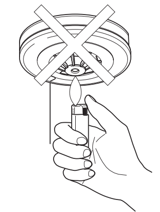
● 表面の汚れは中性洗剤を浸して固く絞った布で拭き取ってください。
※ **ベンジン、シンナーは表面を傷めますのでお使いにならないでください。**



⚠ 警　告



テストのとき、決してライターなどの炎を使用しないでください。警報器を壊すだけでなく、火災の原因にもなります。



⚠ 警　告



もしテストで警報が鳴らない場合は「こんなときは！？」を参考に確認してください。火災の時に警報音が鳴らない場合たいへん危険です。

⚠ 注　意



◎ヘッド取付後は、必ず動作を確認してください。
◎ヘッドをお手入れされる時は、水に浸して洗わないで下さい。また、警報器内部に水が侵入しないように注意してください。

各部の名称と働き

火災を感知したとき

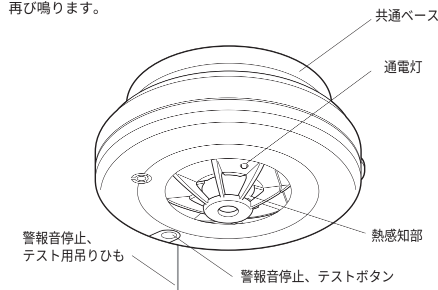
火災を感知した警報器の通電灯(正常時緑点灯)が赤く点滅し、「ピーピー・・・」と警報音が鳴ります。また、取り付けてあるその他の警報器からも警報音が鳴ります。
（他の警報器の通電灯は緑点灯）

テストをしたい時

テストボタンを押すかまたは吊りひもを引く。
しばらくその状態を続けて取り付けてある全ての警報器から音が鳴れば正常です。

警報音を停止したい時

テストボタンを押すかまたは吊りひもを引く。音は一時停止（約5分間）します。
熱がなくなると、音はそのまま止まりますが、熱が残っていますと再び鳴ります。



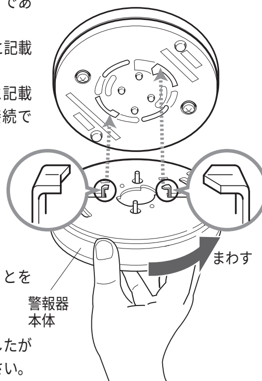
警報器の取り付け方法

① 接続するベースが住宅用火災警報器ベース（連動型用）であることを確認する。
（**「火災警報器連動型用」**と記載されています。）
「火災警報器単独型用」と記載されているベースには接続できません。

② 警報器の各端子をベースに合わせ、止まる位置まで右にまわす。

③ 通電灯が点灯していることを確認してください。

④「テストをしたい時」にしたがいテストを行なってください。



⚠ 警　告

警報器は、必ず正しく取り付けてください。正しく取り付けしないと警報器が作動せず、警報音が鳴りません。

● テストボタンを押し続ける(または吊りひもを引く)と約5秒以内で警報音が鳴ります。その時、取り付けてあるその他の警報器からも警報音が鳴ります。警報音はテストボタンを押すのをやめると停止します。



● １週間以上留守にされたときは、警報器が正常に働くか、テストをしてください。

● 月に１度定期的に試験を行って下さい。

⚠ 警　告

◎お手入れ時は、警報器をはずして行ってください。取り付けたままでは高所作業となり、転倒・落下などの危険があります。
◎ヘッド裏の端子は先が鋭くなっておりますので、取り扱い時にはケガなどにご注意ください。

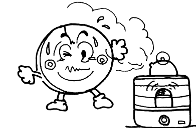
次のようなことは警報器の近くでしないでください

⚠ 注　意



警報器は必ず正しく取り付けてください。
また、警報器を取り付けた場所で、次のようなことをした場合、誤動作の原因になり、正常に火災を警報できません。

◎暖房器具など、常時熱の発生させるものを警報器の近くに置かないでください。



◎常時、温度や湿度を高くしないでください。
（使用周囲温度は0℃～40℃）

